

# 人権作文

家族や身近な人との関係を見つめ直し、  
人権や差別について話し合う機会を持ちましょう。

すっかりしなかった

レポート報告会  
山田小学校 六年 藤田 壮一郎

「ウラがわ」探検隊のレポート報告会の最後の日は、ぼくと汐海さんでした。先生が、「実はピアノをがんばっているんです。」という紙を黒板にはって、それがぼくか汐海さんかを当てることになりました。したら、だれかが、  
「壮一郎くんはピアノは練習してなさそうだな。」  
と言いました。まわりの人が、「そうだね。」  
「みたいなことを言っていました。そして先生が、  
「このウラがわは、汐海さんだと思おう人。」

と聞きました。ほとんどの人が手をあげました。そのときぼくは（ピアノを習っていない人もいるのに、みんなはひける？）と言いたかったけど、何か言われそうだったから言えませんでした。  
答えは汐海さんでした。汐海さんはよく教室でピアノをひいているので、ぼくは（そうだなあ）と思いました。だけど、すっかりしませんでした。ぼくは本当はピアノは少しいやだけど、手が器用になるように習っています。それなのに、みんな

からそんなふうに使われるのは（いやだなあ）と思いました。

そのあと、ぼくの「ウラがわ」を発表して報告会は終わりました。でも、報告会が終わってもあまりすっきりしませんでした。

六年生になって、つづりの時間に「おかしと思うこと」を書くことになりました。ぼくは先生に、「五年生の時のことだけど、書いてもいいですか。」  
と聞きました。先生は、  
「覚えてるならいいですよ。」  
と言いました。そして報告会のことを書きました。

「覚えてるならいいですよ。」  
と言いました。そして報告会のことを書きました。

何日かたって、先生がぼくの書いたつづりをみんなの前で読みました。みんなは静かでした。

「えっ。」とびっくりした表情の人もいました。「そうだったの？」と言った人もいました。読み終わってから先生が、  
「ごめんね、壮一郎くん。このつづりを読むまで、壮一郎くんの気持ちに全然気づかなかった。」  
と言いました。ぼくは（やっぱりそうだったんだ）と思いました。ぼくは、みんながぼくの思っていることに気づいてくれたから少しすっきりしました。

「覚えてるならいいですよ。」  
と言いました。そして報告会のことを書きました。

## 《先生からのコメント》

昨年度「わたしの『ウラがわ』探検隊」という取組をしました。子どもたちに自分自身の『ウラがわ』（あまり人に見せていない、自分の心の中にある本当の気持ちや思い）を見つめさせ、それを紹介できる範囲で学級の友だちに紹介し、子どもたち同士の新しいつながりを作ろうと思いました。

私は壮一郎さんの綴りを読むまでで壮一郎さんの思いをまったく想像していませんでした。壮一郎さんも汐海さんもピアノを習っていることを私も学級の子どもたちも知っていました。にもかかわらず、今回のことが起きたのは、日ごろ教室でオルガンを弾く姿をよく見かける汐海さんに対して、そうではない壮一郎さんに対する決めつけや思い込みがあったのだと思います。そのことを壮一郎さんは私に教えてくれました。

## 人権作文

平成24年度 阿蘇市人権作文集「かけはし」より ※学年は平成24年度時点。

塗装・防水工事・メンテナンスまで

**井上** 株式会社

〒869-2302熊本県阿蘇市三久保448番地22

web <http://www.aso-inoue.com/>

E-mail [info@aso-inoue.com](mailto:info@aso-inoue.com)

受付 平日 9:00~18:00

※土日祝日は事前連絡により対応可



**-お見積・調査 無料-**

塗装 (屋根・壁・破風板・軒天・塀・建具・他)

防水 (雨漏れ調査・屋上・ベランダ・ロキガ・他)

もしもし 0967-32-1501

広告



あべさんは本市在住で  
絵や講演で活躍中。

「自然と共に遊び生活した子どもの頃の体験は宝物だ。心身を強くし、感性を豊かにする。  
(阿蘇の大自然を守るためにも) 次代を担う若い人や子どもたちにもぜひ伝えたい!」と、  
そう願って、あべさんが描かれた作品たちをお届けします。

# 七夕



あの頃はまだ  
空気がきれいだったし、  
都会のネオンも  
まことに満天の星が  
息をのむほどに美しく  
穴いっばいにまたいたいた。  
天の川もはっきり見えた。  
白鳥座を線で結んだり  
織り姫や彦星の  
星を探したり...  
一夜の夜は  
友だちだった。

## 七夕飾りの作り方

織り姫と彦星が  
年に一度だけ会える日...  
雨お降らないで!!と  
祈るものだ

折紙紙を2cm巾にいくつも切る  
丸めてのりづけ → いろんな色をつまんでゆく。  
これおクリスマスでも  
どんな時にも役に立た

ちょうちん  
のりづけ

☆投網の作り方  
(習字紙がいい)

こはかり  
切りする

折る

ひもで  
吊るす

ハサミで  
切り込み  
を入れてゆく

☆里芋の葉っぱ  
の露をあつめて  
すずりであて

筆でたんじく  
に願いごとを書く。

☆星ややせいを  
絵にかいて  
切りぬいて  
糸で吊るす。

☆折り紙を  
つまんで  
ゆく

☆子供たちは 工作をしたり  
絵をかいたりすることで  
感性をみがいている。  
季節の行事を大切にすると共に  
ゆたかな感性を育む  
ロマンあふれる七夕は  
ほんとうにすばらしい♡